

令和 7 年度 第 3 回 東近江市市民協働推進委員会 会議録

◆開催日時 令和 7 年 9 月 16 日（火）午後 7 時から午後 9 時まで

◆開催場所 東近江市役所 315 会議室

◆出席者

市民協働推進委員 深尾 昌峰、辻 薫、小島 秋彦、綾 康典、富田 由美子、
藤澤 彰祐、藤 一道、小島 淳司、奥田 新悟、若林 理恵、
中井 昇

（事務局）

まちづくり協働課 村山、西川、松居、竹内、西堀

◆議題

(1) 「共に考え、共に創る」わがまち協働大賞について【資料 1、2】

(2) 協働による地域自治の仕組みづくり（まちづくり懇談会）【資料 3、4、5】

◆開会

○委員長挨拶

深尾委員長

(1) 「共に考え、共に創る」わがまち協働大賞について

非公表（わがまち協働大賞審査等について）

(2) 協働による地域自治の仕組みづくり（まちづくり懇談会）

<事務局>

市民協働推進計画の基本施策 3 に「持続可能な地域自治の醸成」というものがあり、中でも今回は「協働による地域自治の仕組みづくり」について話し合っていきたいと考えている。地域の声や声なき声を拾うに当たり、まちづくり懇談会を実施している。

資料 3 にもあるように、各地区単位でまちづくり懇談会を実施しており、市民と行政が協働で取り組む地域課題や事業の提案などについて意見交換する「共創の場」としているが、目的通りの内容で実施できていないため、見直しを検討していきたい。

資料 4 では、まちづくり懇談会の現状と課題についてまとめているが、現状として要望伝達の間となっており、やり取りが議会答弁のようになっている。課題として、多様な市民や団体の参画が不十分であることがあげられる。運営の改善として、テーマ設定の共創化や対話手法の工夫、参加者の多様化を検討していきたい。

次回以降に本委員会で議論していきたいことは、懇談会をとおして市民と行政が共に未来を考える場とするために必要なこと、多様な市民が参画できる仕組み作り、対話を活性化させる方法、地域全体の取組へつなぐ「循環」の仕組み作り、次の行動につなげるための支援の在り方などについて議論していきたい。

<委員長>

今回は、次回から話し合う協働による地域自治の仕組みづくりについて、方向性を大まかに説明してもらった。まちづくり懇談会の現状は、まち協や自治連が主体となって、行政が支援する形になっているが、行政が主体で開催するようになると、要求ばかりになってしまう。未来あるものにするためにも、地域自治として様々な地域課題を解決することを共に考えていく必要がある。

次回は、今あるものをどのようにブラッシュアップしていけるかを話し合いたいと思う。

次回 第4回市民協働推進委員会 令和8年1月19日（月）午後7時から
第5回市民協働推進委員会 令和8年3月18日（水）午後7時から

午後9時 閉会